
中国情報（畜産）

2008年4月30日号

◎2008年第1四半期における中国の豚肉市場情勢

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2008年第1四半期における中国の豚肉市場情勢の分析結果について発表した。その概要は以下のとおりである。

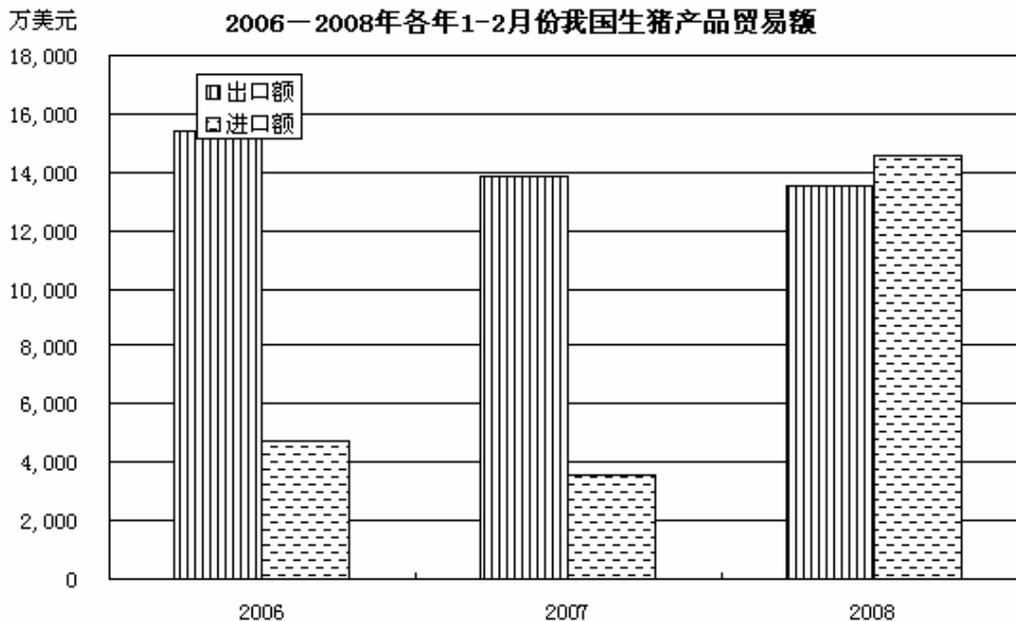
※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

2008年第1四半期の豚産品輸入は大幅に増加し、貿易赤字となった。国際市場における豚肉価格は上下した。

1 豚肉産品輸入の大幅増で貿易黒字は減少

2008年1～2月の中国の豚産品（生鮮・冷凍豚肉、豚肉加工品、豚モツおよび生体豚）輸入額は、前年同期比3.08倍増の1.46億ドルとなった。うち生鮮・冷凍豚肉輸入額が豚産品輸入総額に占める割合は51.78%、豚モツは46.60%を占めた。同じく輸出額は同2.18%減の1.36億ドルで、生体豚、豚肉加工品および生鮮・冷凍豚肉が並び立っており、豚産品輸出額に占める割合は、生体豚38.34%、豚肉加工品33.83%、生体豚27.74%であった。

最近の中国の豚産品輸入の増加率は比較的大きく、多年来黒字であった貿易収支は、赤字へと転じている。2008年1～2月の豚産品の貿易赤字は1,003.68万ドルとなったが、前年同期は1.02億ドルの貿易黒字であった。



(1) 生鮮・冷凍豚肉輸出は減少、輸入は増加

ア 輸出は減少

2008年1～2月の中国の生鮮・冷凍豚肉輸出量は前年同期比55.19%減の1.15万トン、輸出額は同16.79%減の3,761.94万ドルとなった。主要輸出相手国は香港、キルギスおよびベトナム、主要輸出省は湖南省、四川省、広東省、黒龍江省、河南省および雲南省であった。

イ 輸入は増加

同じく輸入量は前年同期比11倍増の4.88万トン、輸入額は同19倍増の7,539.2万ドルとなった。主要輸入相手国は米国、フランス、デンマーク、カナダ、主要輸入省区市は広東省、上海市、天津市、北京市、福建省および広西チワン族自治区であった。

(2) 豚肉加工品の輸出は減少、輸入は増加

2008年1～2月の中国の豚肉加工品輸出量は前年同期比41.15%減の1.43万トン、輸出額は同23.16%減の4,594.68万ドルとなった。主要輸出相手国は日本、香港およびマレーシア、主要輸出省市は山東省、広東省、福建省、天津市および上海市であった。

豚肉加工品輸入量は同25.49%増の20.66トン、輸入額は同1.28倍増の12.78万ドルとなった。主要輸入相手国は台湾およびスペイン、輸入が比較的多かった省市は福建省、上海市および広東省であった。

(3) 豚モツ輸入は増加、輸出は減少、貿易赤字が増加

2008年1～2月の中国の豚モツ輸入量は前年同期比53.50%増の6.98万トン、輸入額は同1.14倍増の6,785.31万ドルとなった。主要輸入相手国はフランス、デンマークおよび米国であった。一方、輸出量はわずかに4トンと極めて少なく同86.58%減、輸出額は同77.61%減の5.2千ドルとなった。

(4) 生体豚輸出は増加

2008年1～2月の生体豚輸出量は前年同期比13.18%増の24.99万頭、輸出額は同54.97%増の5,198.55万ドルとなった。主要輸出相手国は香港およびマカオ、輸出省トップ6は広東省、河南省、江西省、湖南省、湖北省および浙江省であった。

2 国際市場情勢

(1) 米国の豚肉価格は下落、EUは上昇

ア 米国

2008年3月の米国の豚肉卸売価格は、前年同月比、前月比とも下落した。うち豚肉カットアウトバリュー（各部分肉の卸売価格を1頭分の枝肉に再構成した卸売指標価格のことで、枝肉卸売価格とは異なる）は前年同月比14.10%安、前月比7.20%安、ロイン（14～19ポンド：1ポンド=453.59グラム）は前年同月比9.94%安、前月比0.86%高、ベリー（皮付き12～14ポンド）は前年同月比26.01%安、前月比12.59%安、モモ（20～23ポンド）は前年同月比13.27%安、前月比14.50%安、トリミング（72%フレッシュ）は前年同月比10.19%高、前月比4.48%安となった。全体として、第1四半期の米国豚肉卸売価格は前年同期比12.53%安で、前期に比べやや上昇した。

表 米国の豚肉卸売価格

(単位：ドル/100ポンド)

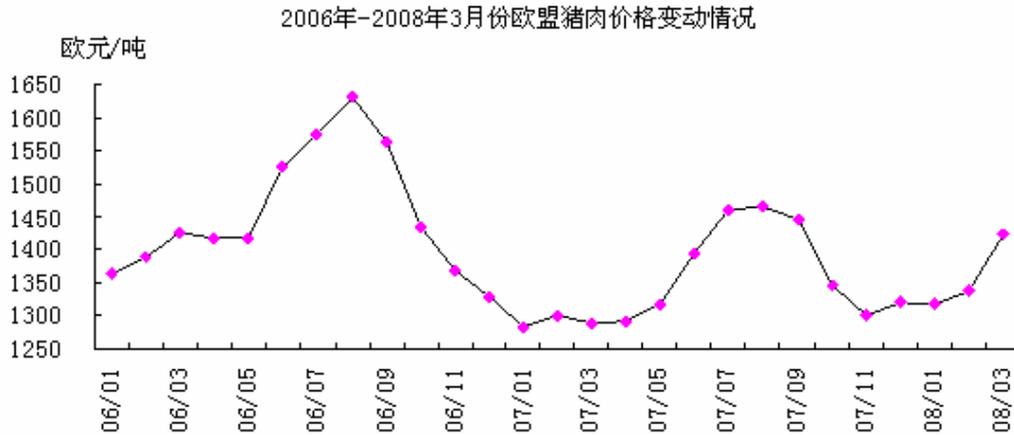
| | カットアウト バリュー | ロイン 14-19 lb | ベリー 皮付き12-14 lb | モモ 20-23 lb | トリミング (72%フレッシュ) |
|-------|----------------|-----------------|--------------------|----------------|---------------------|
| 08年1月 | 56.71 | 87.70 | 75.56 | 48.66 | 38.51 |
| 2月 | 61.42 | 90.22 | 78.94 | 57.31 | 51.30 |
| 3月 | 57.00 | 91.00 | 69.00 | 49.00 | 49.00 |
| 同比 | 14.10%安 | 9.94%安 | 26.01%安 | 13.27%安 | 10.19%高 |
| 環比 | 7.20%安 | 0.86%高 | 12.59%安 | 14.50%安 | 4.48%安 |

資料：米国農務省経済調査局（USDA/ERS）

注：同比＝前年同月比、環比＝前月比。いずれも2008年3月の価格に対する比率

イ EU

2008年3月（3月23日まで）のEUの豚肉平均価格は1トン当たり1,423.59ユーロで、前年同月比10.39%高、前年比6.50%高となった。EUの豚肉価格は、2008年1月末から8週連続で小幅な上昇を維持し、12週目には同1,449.47ユーロに達した。トウモロコシや大豆かすなど飼料原料価格の上昇が続いていることや需要期に入ってきたことなどから、EUの豚肉価格は上昇速度を増し始めている。



資料：EU委員会

(2) 米国、ブラジルの豚肉生産量および貿易量は増加

ア 米国

米国市場における豚肉供給量は十分である。米国農務省（USDA）の統計によると、2008年3月初めの米国における豚飼養頭数は、前年同月比7%増の6,590万頭となった。3～5月の繁殖雌豚頭数は、往事に比べ増加するものと予測されている。第1四半期の米国の豚肉生産量は、前年同期比9.6%増の59.2億ポンドとなり、2008年通年では、前年比5.4%増の231億ポンドと予測されている。継続的な豚肉価格の下落およびドル安の影響を受け、米国の豚肉輸出は急速に増加し、2008年1月の豚肉輸出量は前年同月比27%増の3.53億ポンドとなった。主要輸出相手国は日本、メキシコ、カナダおよび韓国などである。

イ ブラジル

2007年はブラジル中部の大豆、トウモロコシなどが豊作で、国内の豚生産は飼料原料価格高騰の影響が比較的小さく、コスト面など国際市場におけるブラジル産豚肉の競争力が比較的強かったことから、同年のブラジルにおける豚肉生産量の25%が輸向けとなった。2008年の豚肉生産量は、さらに増加するものと予測されている。